

# 今後の新型コロナ対応について



長野県PRキャラクター  
「アルクマ」  
©長野県アルクマ

日常生活や社会全体に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の発生から約4年が経過しました。

この間、県民の皆様の御理解と御協力により、医療崩壊を招くことなく、この難局を乗り越えることができました。改めて、全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症はインフルエンザ等と同様に特別な感染症ではなくなり、医療費の公費負担や専用病床の確保は令和6年3月末で終了し、4月から通常の医療提供体制に完全移行します。

インフルエンザ等を含めた感染対策の基本は、手洗い等の手指衛生や換気、その場に応じたマスクの着用、ワクチン接種等が有効です。

一方で、過去に実施していた、次の対策※については、現在は呼びかけを行っていません。

※ 5類移行前に実施され、現在呼びかけを終了している感染対策例

- ・医療機関や高齢者施設などハイリスク者（高齢者、基礎疾患を有する方等）と接する場面以外でのマスク着用
  - ・集会、会合等の見合わせ
  - ・アクリル板、ビニールシート等のパーテーションの設置等
- （医療機関や高齢者施設等においては、集団感染対策として、施設の判断で継続している場合もあります。）

5類移行前の取組を今も継続されている事業者等の皆様におかれましては、これを機に感染対策のあり方について、それぞれの実情に合わせて、適宜、見直し等をご検討ください。

